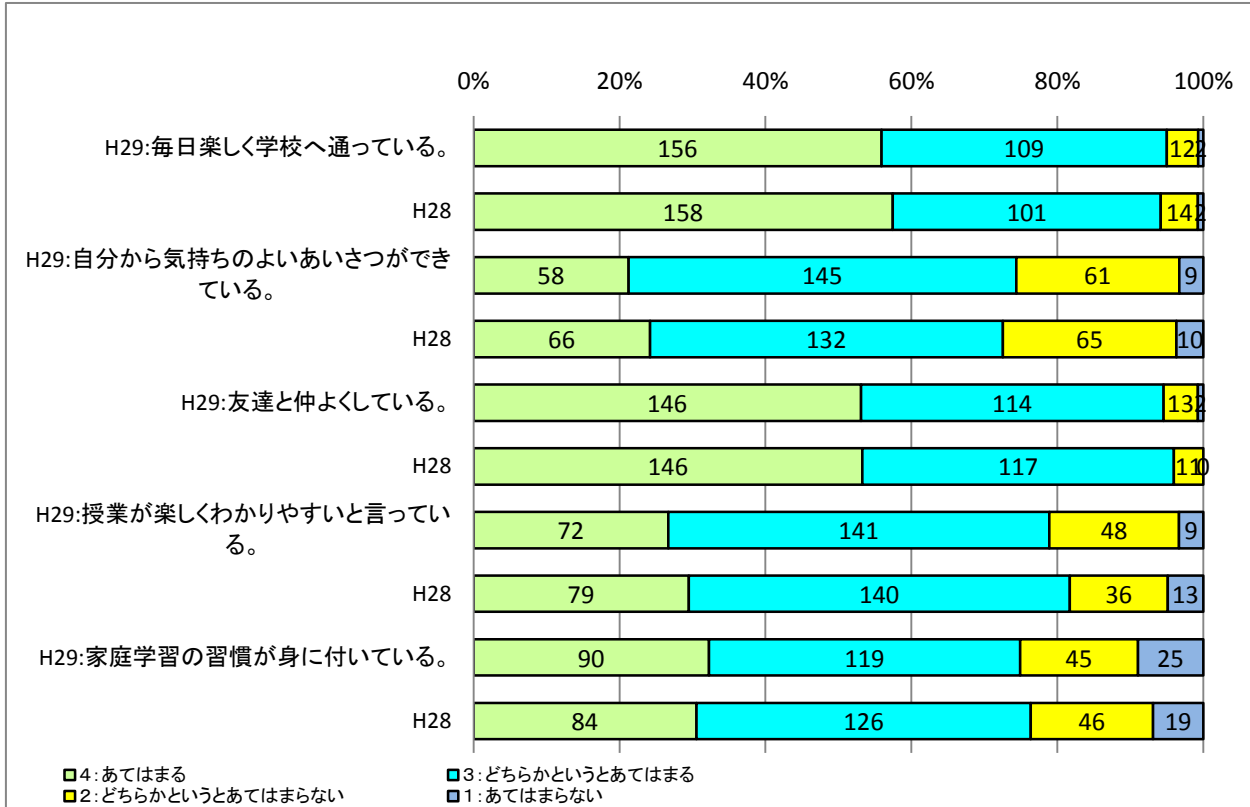


# 平成29年度 古川西小学校 保護者アンケート(12月11日実施) より

12月に古川西小学校の保護者アンケートを実施させていただきましたが、皆様よりご協力いただき誠にありがとうございました。平成28年度と比較しながら、結果を報告させていただきます。  
 学校では、保護者の皆様へのアンケートと共に、児童への学校生活アンケート、職員による自校評価を実施し、その結果を踏まえ、課題と成果を明らかにし、次年度につないでいきたいと考えております。頂いたご意見につきましては、紙面の制約、また、個人情報保護の視点からも、全てを網羅した掲載になっていないこと、及び、要約したものを掲載させていただいておりますのでご了承下さい。

## 1 お子さんの姿についてお聞きします。



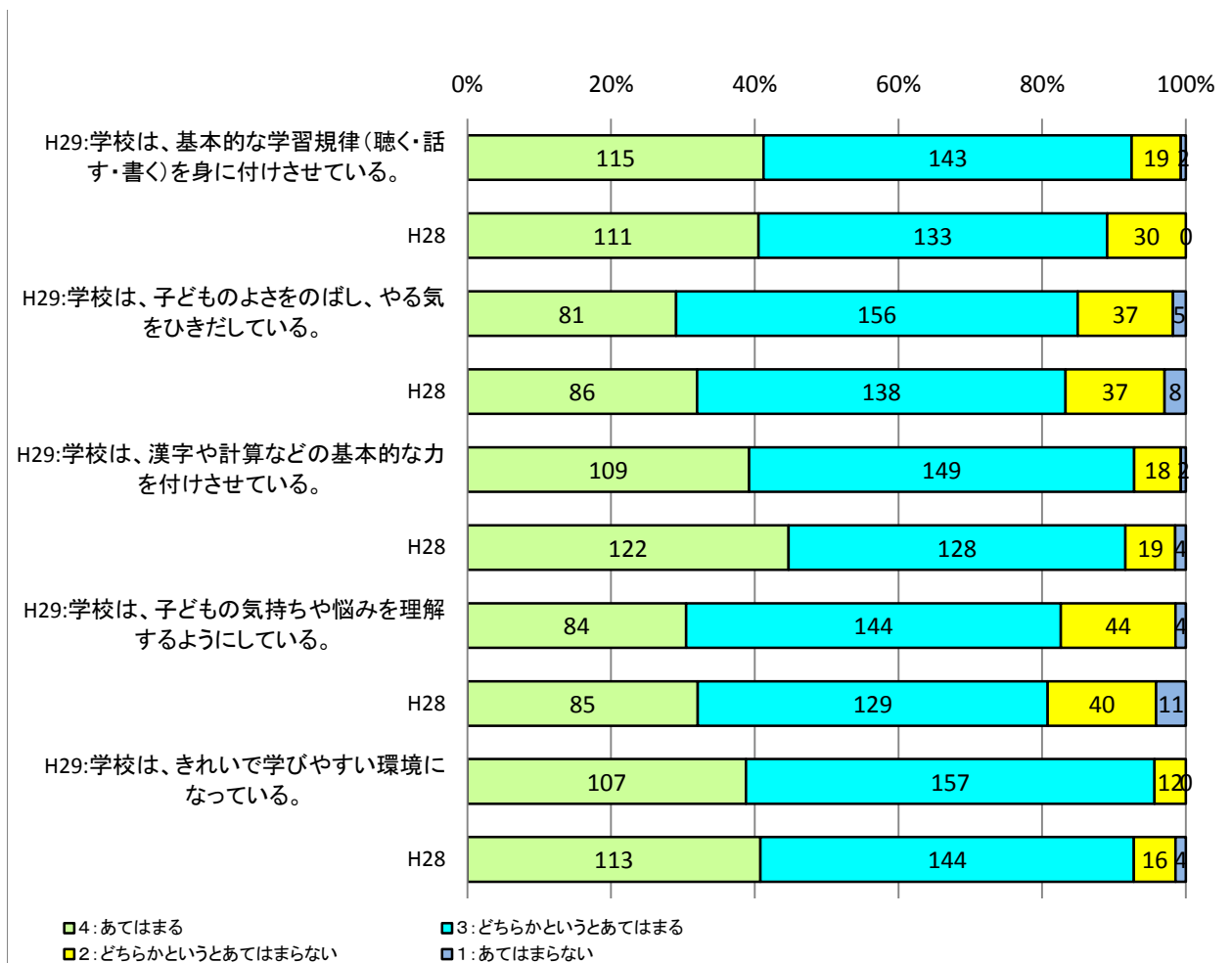
### 【総括】

5項目に対し、ほぼ昨年と同様の結果となっています。約95%が毎日楽しく通っていると感じて下さっています。少数ではありながらも、そう思わないと感じていらっしゃる方もみえますので、教育相談等を通し改善していきたいと思えます。授業が楽しくわかりやすいという割合が減少していますので、原因を探りながらわかりやすく楽しい授業を目指します。家庭学習については、学習の環境や学習時間の約束など、各家庭でも引き続きご協力をお願いします。

### 【頂いたご意見より】

- 楽しく学校に通うことができている有難い。
- 学校で子どもを見守って下さり、親として毎日元気で過ごせて、学校に通えることは本当に有難い。
- 担任は、子どものことを見てくださり、安心して通わせることができている。この時代少しのことでニュースに取り上げられてしまうが、悪いことをしたときははしかってくださるのでありがたい。
- あいさつがよくできている。廊下で会ってもあいさつをしてくれるので気持ちがよい。
- 縦割りで大縄をしていると聞き、縦のつながりも大切にされていてよい。
- △嫌がらせがあるなんて悲しかった。加害者の親が子どもを連れてあやまって欲しい。  
→誰もが仲よく気持ちよく生活できることを目指しています。生活アンケートや相談活動を通し、実態を把握しながらいじめ等がないよう努力しているところですが、お気付きの点がありましたら、その都度学校へもお知らせ下さい。
- △授業内容を理解していない様子を見せている子に対し、もう少し先生側から積極的にどこを理解していないのか探るようにしてもらえるとありがたい。
- △授業が分からないと言っている。点数も下がってきた。  
→一人一人に確かな学力が身に付くよう努力していますが、至らない面もあると思いますので、課題を明らかにし授業を進めていきたいと思えます。
- △宿題が多すぎて、特に長期休業の時、出かけようと計画しても宿題の心配ばかり。
- △カド、ケドの宿題をもっと出して欲しい。自主勉を宿題にして欲しい。  
→個人差もありますので、過度の負担にならないよう、かつ、毎日の学習の定着ということを考え出していきたいと思えます。長期休業中の課題については、計画を立ててやり遂げるということも目的にしていますので、そんな視点で一度チャレンジしてみてください。

## 2 お子さんへの指導についてお聞きします。



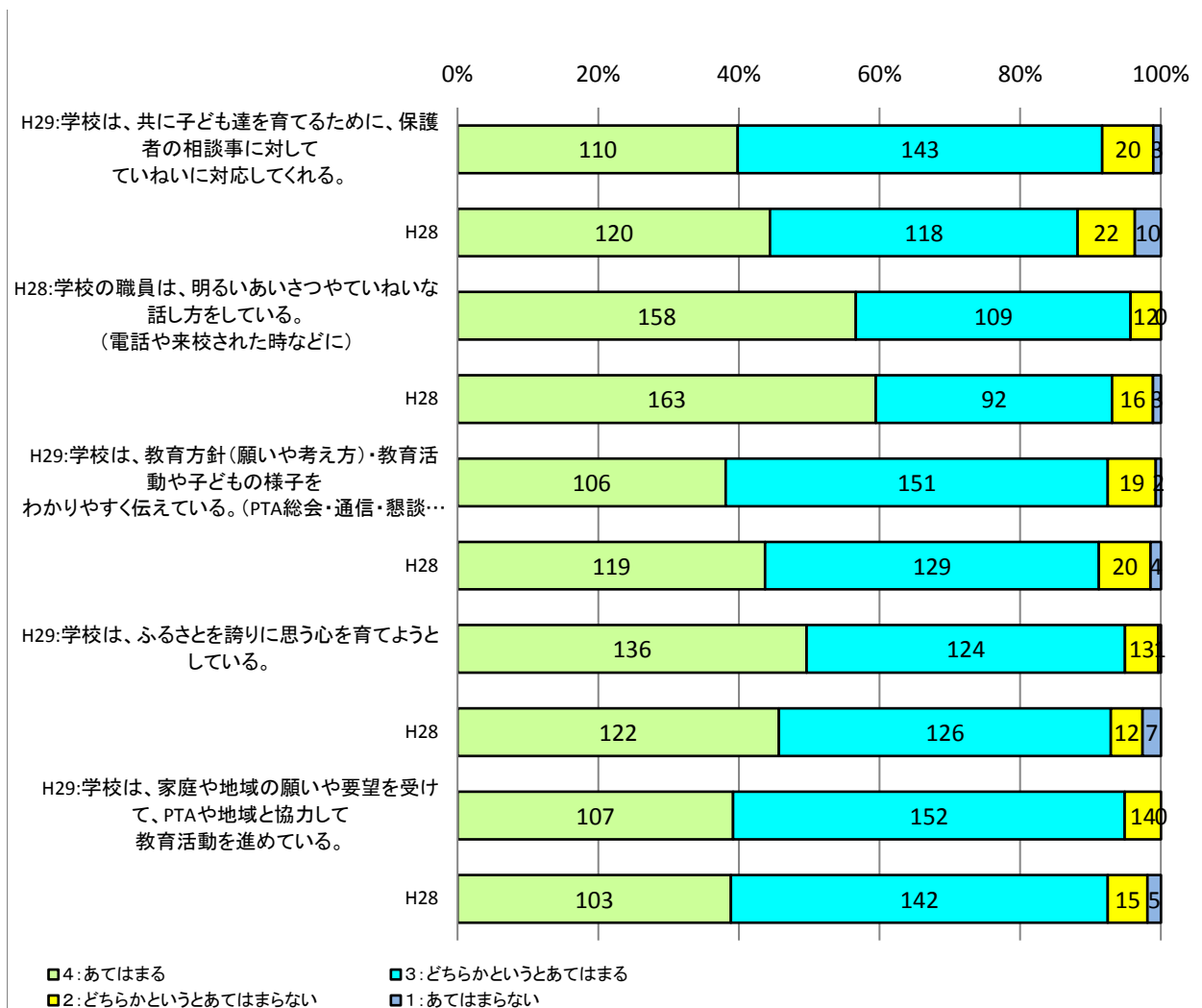
**【総括】**

お子さんへの指導に関わっても、昨年と似た傾向になっていますが、「あてはまる」、「どちらかというあてはまる」という回答を頂いた割合が少しではありますが増加していることはよかったです。「子どものよさを伸ばしやる気を引き出している」、「子どもの気持ちや悩みを理解するようにしている」という二つの項目についてはどちらかというあてはまらないという回答が、17%ほどありますので、努力していきたいと思えます。

**【頂いたご意見より】**

- 長所を見つけ更に伸ばそうとしてくれるところがうれしく感謝している。
- 算数でじっくりコースと応用基本コースに分かれて勉強できるのはとてもよいことだと思う。
- 嫌な思いを我慢していた子どもの気持ちを考え対応してもらえてとてもありがたい。
- 女子の友達間でもめ事が起きたとき、こじれないうちに対応してもらえてよかった。
- とてもきれいな校舎で、先生方も一生懸命教えてくださっているのもとてもありがたい。
- △子どもに対しての先生の話し方や対応の仕方に問題があると思う。(人によって話し方が違う、自分の機嫌で口調が違う)
- △もう少し子どもの個々の思いに耳を傾けて欲しい。  
→具体的な状況を教えていただきながら、職員間においても共通理解を図り、子どもに寄り添って指導できるよう改めていきます。
- △テスト勉強の方法が分からない。  
△テストの丸のつけ方がきびしい。だったら普段のノートの字をもっときびしく見てもらいたい。  
→基本をしっかり身に付けることが大切です。やはり、勉強したときを逃さず、正しく、かつ、できるようになるまで習熟することを大切にして、テスト勉強をしたり宿題をしたりできるとよいと思えます。
- △算数の少人数は低学年にはないのでしょうか。  
→現在、少人数指導は、学校の希望に対し非常勤講師の加配があり、3年生以上で実施しています。加配の有無や担任の持ち時間数により、実施できる時間数が限られておりますので、全学年での実施は難しいですが、個に寄り添った指導を心掛けていきたいと思えます。

**3 保護者や地域の皆様と学校の関わりについてお聞きします。**



### 【総括】

保護者や地域の皆様と学校の関わりについても、昨年と似た傾向になっていますが、「あてはまる」、「どちらかというあてはまる」という回答を頂いた割合が少しではありますが増加していることはよかったです。本校では、ふるさと教育を大切にしていますが、地域の皆様のご協力により、大変充実した学習をすることができ、改めてお礼申し上げます。どうか今後とも宜しくお願いいたします。また、職員は、保護者の皆様と手を携え、子どもの教育に当たりたいと考えておりますので、双方が気軽に情報を共有し、子どもの教育を推進していけるよう、ご協力を宜しくお願いいたします。

### 【頂いたご意見より】

- いじめにあいかけたとき、先生に相談したらすぐ対応していただき、その後はなくなり、早い対応に有難く思った。
- 親の話も親身になって聞いてくれてありがたい。
- いつも学校での様子や心配な事等、電話等で教えていただきとても有難く思っている。
- 悩みに対して丁寧に相談にのってもらいありがたかった。道徳の時間にみんないろいろ違ってよいという授業をして下さり親子で話すことができた。
- 先生の子どもたちや親への対応がとてもよい。
- 相談事をするとても親身になってくれ、話してよかったなあと思う。
- 進路や悩みの相談にのってもらい、本当に感謝している。
- お会いする度にどの先生も明るく声をかけてくださってとても気持ちのよい学校だと感じている。
- 学年通信等で様子を知らせてもらいよく分かる。いいことばかりでなく失敗したことなども載せてよいのでは。
- 町探検の授業が楽しいようで、地域と関われる学習が学年ごとにあってよい。
- △対応が冷たく、もう少し親の気持ちになって親身になって欲しいと思うことがあった。  
→そのような失礼があったのならお許し下さい。改めていきます。
- △情報モラルについての教育を学校と地域が連携していく必要がある。  
→市P連でもこのことについては取り組んでおり、『「ネットの約束」取組のお願い』という形で各家庭へ呼びかけています。是非とも、皆様のご協力をお願いします。

### 4 自由記述のご意見より

- ゲーム等するときに、みんなで楽しめるよう子どもたちで話し合う機会を作ってくださいていることはよい。
- 家で、子どもが先生と話したことを楽しそうに話してくれる。
- 懇談会の少しの時間の中で学校の様子が知れて、よい時間だと思う。

○難しい年頃で、接し方に困ることもあるが先生方の一生懸命な姿を見ると頑張らないと励まされている。子どもの意欲が驚くほど変化している。

○毎朝、登校の際に先生方が雨の日も校門と歩道橋の所で立って子どもたちを迎えてくださり、安心して通わせることができる。

○友達のよいところを見つけて発表したり、お手紙を書いたりする取組はうれしい気持ちや優しい気持ちを育むのでよい。

○担任の先生が学校生活だけでなく、スポ少や家のことで頑張っている事など褒めてもらえて、自信がついたようだ。

○これからの子どもは、自ら考え行動すること、そして幸せに生きることが何より大切。目標や言葉だけが上滑りしないようみんな育てていきたい。

△「さん付け」について疑問に思うことがたくさんある。

→場に応じ、自分で判断し、使い分けができるということが一番大切なことだと思います。あだ名などもそれが一人歩きし、いじめにつながることもあります。先ずは、友達を呼ぶとき「さん」をつけましょうということで取り組んでいます。家庭でも、言葉の使い方について気になることがありましたら、子どもたちに教えてやって下さい。

△前年より退行しているように思う点もあるので、見直して欲しい。

→職員のカラダアップを図りながら改善していきます。

△子どもたちが「しね」など、人を傷つける言葉を使っているのが心配。

→確かに、安易に使っているような面があり、いじめにもつながっていきます。人を傷つけるような言葉を使わないこと、命を大切にすることなど、繰り返し指導していきます。各家庭でも、ご指導下さい。

△スポ少の賞状を校長に渡しても、紹介してもらえない。

→全校集会は年度当初の計画に従って開催し、その場で紹介や伝達表彰しています。また、把握している入賞等の成績は、毎月の学校だよりにて紹介しています。

△兄弟がいるので学習発表会が全部見られなくて残念だった。

→家族参観日として設定した日程ですので、重複がありご迷惑をおかけした面もあると思います。学年を分け実施する方法もあるかと思いますが、かえってお休みをとって参加いただくということで負担が増えることもありますので、今回のような方法で実施させていただきました。

△扇風機だけで熱中症にならないか心配である。

→教育委員会へもお願いをしながら進めているところですが、風通しをよくしたりしながら、配慮していきます。

△雪の時、袈裟丸区の児童も、数河からのバスに乗せてもらえないか。

→バス通については、通学距離、乗車定員、安全等を踏まえ実施しております。他地区とのバランスも考えなければいけませんので、現状では難しいです。

△体操服での登下校を許可してもらえないか。

→特に夏場や運動会の頃は、汗をかくことが多く、清潔を保つためにも着替えられるようにとの配慮により、体育などの運動時には体操服でというお願いをしています。

△3つに分かれている参観日を、一日にまとめてもらえないか。

→全く反対のご意見をおもちの方もみえます。駐車場のスペース確保の問題もありますので3回に分けて実施させていただいております。

△保護者も年に一度は、学級懇談会に参加できるとよい。

→学級懇談会になると、参加人数が減ってしまうのが現状です。是非とも、ご参加下さい。

△通学班の班長、副班長は、学年を問わずしっかりした子にしてもらいたい。

→子どもを育てるという視点においても、その班内での高学年を班長や副班長にしています。また、見守り隊の皆様も、最後の班や個人と共に、学校まで、一日も欠かすことなく学校まで送って下さっています。また、バスが到着するまで待ち、子どもを出迎えてくださいます。各家庭でもお気付きの手がありましたら、子どもたちに指導して下さいとありがたいです。

△学級閉鎖の時、習い事は学校とは別のため保護者の判断に任せるよう手紙に書いてほしい。

→目に見えない感染のリスクを考え、原則外出を控えるようお願いしているところです。禁止するまでの制約力はありませんが、各ご家庭で状況をしっかり把握していただき、ご判断ください。

△給食にお茶があるとよい。冬の牛乳が冷たくお腹をこわす。

→そのような場合もあるかとは思いますが、現状では難しいです。どうしてもという場合がありますたら、個別に学校までご相談ください。

△プール時に自転車許可にしてもらいたい。

→安全な登下校を第一義に考え、自転車による通学は許可しておりません。

△夏休み作品展は、行く時間がないので日曜日も解放してもらいたい。

→平日は、勤務時間を延長し午後7時まで解放しています。土曜日や日曜日については、職員の休みの確保の必要もありますのでご要望にお応えできませんがご理解ください。

△通学帽子は、黄が安全カラーなので黄色に変えて欲しい。

→そのことで安全に支障をきたしたという報告は今のところありませんが、公安協会、取扱業者等の関係もありますので、そのようなご意見もあるということは、お伝えしていきます。

△通学路の安全確保で、除雪をしっかりしてほしい。

→校区会やPTAからも市へは毎年要望しています。全ての通学路の除雪まではできないのが現状です。お近くの通学路など支障がありましたら、少しでもご協力いただけるとありがたいです。